

事業主 各位

新規学校卒業者の採用につきましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年3月新規学校卒業予定者の就職環境は、昨年度に引き続き大変厳しい状況となっており、9月末の全国の高校生の就職内定率は前年同期を3.0ポイント上回ったものの40.6%、一方、大学等卒業予定者は、10月1日現在前年同期を5.0ポイント下回り56.0%となっております。

鳥取県内の新規高等学校卒業予定者の就職内定率を見てみますと、10月末現在で55.5%と過去6番目に低い内定率となっております。

このような就職環境の厳しさの背景には、昨今の円高やエコカー補助金の終了、個人消費の長期低迷など、先行きの見えない経済情勢が要因の一つと見られていますが、就職未決定のまま卒業を迎える学生・生徒がこのまま多数にのぼるとなれば、本人にとって将来のキャリア形成の支障となるとともに、地域の産業や社会を支える人材の育成が図られないなど深刻な問題を引き起しかねません。

こうした実情をご理解いただき、希望に胸膨らませ社会に羽ばたこうとしている新規学校卒業者について、一人でも多くの採用が図られますよう特段のご配慮をお願い申し上げます。

また、新卒者に限定して応募機会を設ける採用慣行があること等により、就職が決まらないまま卒業して、フリーターの常態が長期化している若者たちの正規雇用への移行が、困難となることが懸念されております。少なくとも大学及び高等学校等を卒業後三年以内の未就職卒業者の新卒枠での応募受付につきましても、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

鳥取労働局としましては、将来ある新規学校卒業予定者が1日も早く就職が決定するよう全力を尽くして取り組んでいるところであります。

貴社におかれましては、このような状況をご賢察いただき、新規学校卒業予定者の求人票の提出及び採用枠の拡大につきまして、特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

平成22年11月26日

鳥取労働局長 森田 啓司